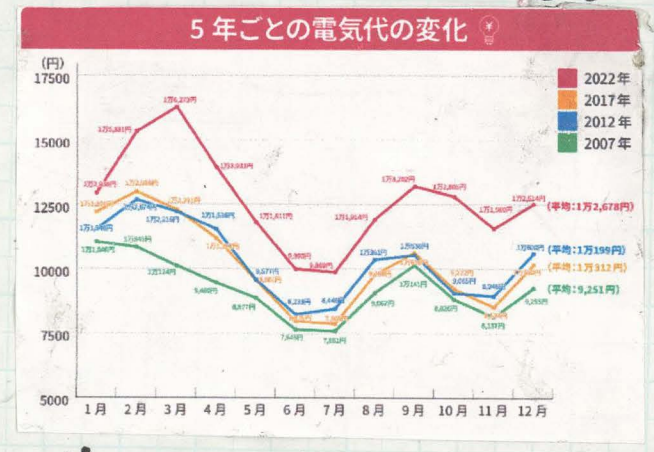


1日の電気使用量
 最近電気代が昔と比べて高くなっています。昔と今の電気使用量はどくらい上がっているのでしょうか。



このように昔と今を比べると、昔より電化製品が増えているので電気代が高くなっています。

電気の節約方法

- ①エアコン冷房は必要な時だけつける
- ②照明不要な灯りはこまめに消す
- ③テレビ見ない時はこまめに消す
- ④パソコン使わない時は、電源を切る

このような節約をしないと電気代が高くなってしまいます。

太陽光発電のメリット

- ①再生可能エネルギーである太陽光は無限に供給できる
- ②環境にやさしい発電時にCO₂や有害物質が出ないため、地球温暖化や大気汚染を軽減することができる。
- ③災害時に役に立つ。地震などが起きた時にスマートフォンや冷蔵庫、病院の医療機器を動かすために太陽光発電を活用することでライフラインを維持することができます。

太陽光発電のデメリット

- ①天候に左右されやすい曇りの日や雨の日、北海道だと雪が積もってしまうと、発電効率が低下します。
- ②広い土地が必要で大規模な発電をするためには、大きな土地が必要になるため、そのような土地を確保するのも大変です。
- ③設置コストが高い

風力、水力、火力、など沢山の種類の発電がある中、

太陽と北海道のすべてを繋げる企業 株式会社アークに取材してきました!!

今回協力していただいたのは、「北海道を代表する再生可能エネルギーのリーディングカンパニーとなり、脱炭素社会実現へ貢献する企業になる」を企業理念に込めている株式会社アークです。

- Q. 太陽光発電所の土地はどのように探していますか?
- A. 1. まず、平らな土地です。
 2. 遊休地(使われていない土地)であること
 3. 道路があること → 工事をするため
 4. すぐ近くに電柱があること → 発電した電気を送るため。



- Q. 北海道からこの太陽光発電のメリットがあなたに教えて下さい。
- A. 1. 北海道は土地が広いので太陽光パネルを置く場所は沢山あります。
 2. 夏場になると発電量は北海道が一番多くなります。

↳ Qなぜですか? → A. 太陽光パネルは熱に弱いので、外気温が25度が一番発電します

- Q. ソーラーパネルは寒さや暑さに強いのですか? また、氷や雪でこぼれをりしませんか?
- A. -40°から85°まで対応することができ、氷があっても発電できます。

- Q. 太陽光発電所は災害に強いんですか?
- A. アークの太陽光発電は災害に強いつくりになっています。例えば、パネルを支える支柱が4本だと、地震が起きたとき衝撃が4本の柱に伝わりますが、アークの柱は1本でつくられているので、衝撃が軽減されます。また、外国では海に浮かべて置く、洋上発電をすることにより、水位の変動に対して柔軟に対応することが出来ます。



- Q. デジタル技術を活用して、都市インフラや施設を最適化し企業や生活者の利便性、快適性の向上を目指すスマートシティが注目を集めていますが、太陽光発電の今後の展望を教えてください。

- A. 家も企業も車もすべて、自然エネルギーのみの究極エコシティの実現を目指します。個人の方も、法人様の方も含め、アークで電気を消費取り込んでいるところから計画してまいります。建設中の各地の太陽光発電所は蓄電池と組み合わせることによって、電気自動車の電気スタンドとなることではないでしょうか。北海道のアークの太陽光発電所が地域のエネルギー源となるエコシティの実現を目指します。

↑壁にかけるタイプのパネルはとても軽く、ぼく達2人でも持つことが出来ました!

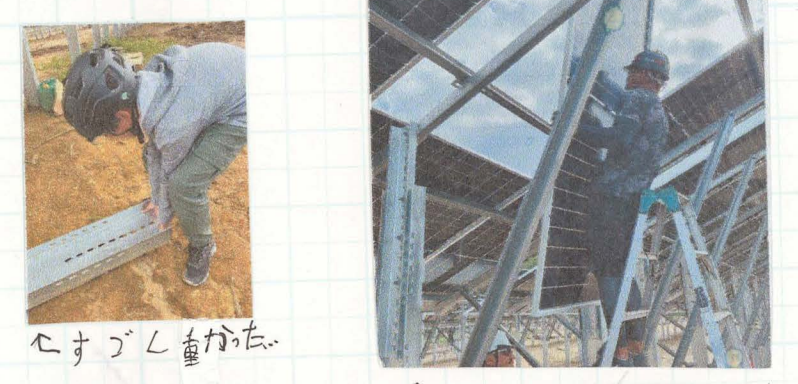
見学させてもらいました!

☆現在運用中の発電所と工事中の現場を見せてもらいました。



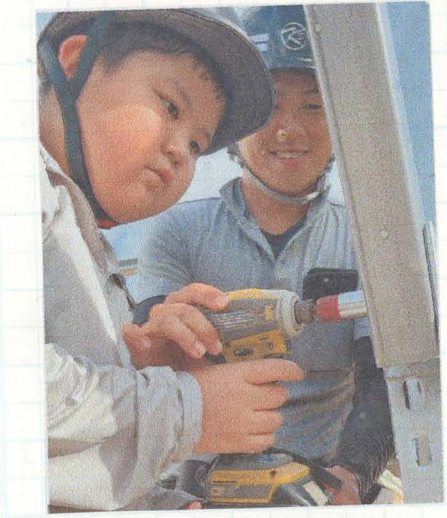
↑雪が降っても大丈夫な高土台

↑こんなに沢山!!



↑すぐしなれた

↑一枚一枚手作業で持ち上げていくそうです



↑実際工具を使ってボルトをしめさせてもらいました。きんちょうしました。

編集後記 この新聞では、太陽光発電やSDGsについて学び、実際に太陽光パネルの会社にも取材させていただきました。取材を通して、太陽光発電が北海道が一番発電量が多いことや、環境にやさしいエネルギーとして使われていることを知ることができました。地球温暖化やエネルギー問題に取り組むSDGsの目標が、私たちの未来にとっても大事なものであると感じました。今後も地球を守るためにどんなことができるかを考え、少しでも役に立てるような行動をしていきたいと思います。